

保護者と共に歩む

1月に入って金木犀の香りが漂ってきました。金木犀の香りといえば、私が第1子を出産した時（10月1日）に病室の窓から漂っていたのを思い出します。

10月にサポートブックの書き方研修会を行いました。保護者の中にはすでに書いている方、書こうと思ってるけど書けてない方、初めてサポートブックを開く方など、色々な方がいる中で和気あいあいとお子さんの状態を話されながら取り組んでいらっしゃいました。この研修の時に、Angeを利用し始めてから変わってきたお子さんの姿とそれと同じように保護者も変わってきた姿を合わせて伝える

機会がありました。

- なんとなく変わってきたけどどこが？に対して具体的に
- どんな取り組みをしたから変わってきたのか？
- 子どもだけでなく保護者もとてもいい方向に変わってきた。だから、お子さんもすごく変わってきた

ことを伝えました。その保護者さんは「あんまり（子育てで）誉められた事ないから～、え～～！？」と、照れながらもはにかんでおられました。やっぱり認めて、誉めてもらえるって嬉しいですね。その時の保護者からの感想です。

「なかなか、日々の生活の中で過去を振り返って文章に起こすっていうことができず、後回しになることが多かったですが、こういう時間って本当にありがたいです。尚且つ自分だけの目で書くのではなく、スタッフさんと一緒に「ああやな、こうやな」って言いながら、「ああそうやな」って思える時間って一人じゃないって思えて感謝します。我が子だけではなく、私自身も助けてもらいながら共に育む共有をしてもらい、みんなで我が子を見守ってもらえていると思えて本当に嬉しいです。いつもありがとうございます♡」と・・・。

私たちもこういう風に思っていることがわかり、とても心温かくなりました。

またある日、Angeの利用を卒業した保護者さんから久しぶりに連絡がありました。学校にスムーズに通えるようになっていたのですが、少し困っていると。話を聞き必要な機関を紹介し、対応を伝えました。利用をしなくても困った時にふと、思い出してくださったことを嬉しく思いました。

成長がゆっくりな子どもと向き合い、時には育てにくいと感じながらも毎日奮闘されている保護者の方々はとっても頑張っておられると思います。（偉そうに感じたらすみません）Angelはいつも保護者のみなさんの応援隊でありたいと思っています。寄り添い、一緒に悩み、頑張りを共感し、背中を押し、時には愚痴を聞き、そして助言し…。お子さんを中心にたくさん会話を重ね、一緒に歩んでいきたいです。

郡 奈美

作業所についてのお話です！

研修実施予定！申し込み受付中！

12/2(木)卒業後の進路について(仮)

講師：神 富美子氏
(NPO 法人すまいる 佳処宮山事業所 管理者)

↓申込みQR↓

今回の研修では制度や事業所の特色について学びます。講師以外にも「みずほおおぞら」「あすなろ」「海萌」「クレヨン」「糸をかし」「セントポプリ」の6事業所にzoomで参加していただき、簡単に施設の説明をしていただきます。

※外部の方など、どなたでも受講可能です。詳しくはお問い合わせください。

■場所:Ange（服部）又は zoom ■時間:AM10:00～ ■参加費:Ange 保護者500円・外部の方1000円/1名
■申し込み・お問合せ:TEL(06) 6151-2996 Mail: kitamura@tokuyo.me 担当:北村

～研修会を開催しました～ 「子どもの発達的特徴心の育ちと大切にしたいこと」

11月8日、昨年大好評の宮本先生の研修を行いました。今年は会場とzoom合わせて32名。たくさんの保護者と支援者が参加されました。どの子も「共通の発達のみちすじを歩む」こと、発達には「タテの発達とヨコの発達がある」こと、「年齢における発達的特徴」など経験談を盛り込みながら話していただきました。先生の柔らかな口調でのお話に、研修を受けた方はふっと笑顔になる温かい雰囲気での研修会でした。昨年度先生の研修を受けた私たちも、領き再確認しながらお話を聞かせていただきました。研修を受けているときには皆さんの頭の中に子どものいろんな姿が浮かび上がっていたようで、「今我が子はこの発達段階なんだという視点を持つことで、今の子どもを認め成長を楽しんで眺められる」と素敵な感想も寄せられました。宮本先生のお話を心に留めて、私たちは今後も療育に励んでいきます。



「事業所見学に行ってきました」

12月2日の研修に来ていただく「海萌」を事前に見学してきました。ここにはAngeの卒業生Hさんが通っています。彼女は製作やクッキングが大好き。それが功を奏したのか、パンとうどん作りに携わっています。その日はうどん作り。Hさんがテキパキと作業しているのを見つめる私たちに、指導員の方は「毎回笑顔で作業していますよ、今日は少し緊張しているかな」と話しておられました。腰に手を当て、手際よくうどんをかき回すHさん。堂々として、その頑張っている姿に熱いものがこみ上げてきました。卒業後の子ども達の成長を見ることができた、とても貴重な体験でした。

10月の最終週はハロウィンイベント週間！自分で作ったハロウィンバッグを持ち、仮装もして、服部とwestの事業所間でお菓子をもらいに行き来ました。行先は1か所ですが、お菓子の受け渡しは2か所。コロナ禍で地域の人たちのところは回れない分、受け渡し場所を各事業所2か所ずつにして、「おやつ巡り」の演出です。子どもたちはお菓子を受け取るとすぐさまお菓子チェック！自分の好きなお菓子が入っているか確認してからバッグに入れていました。そしてハロウィンの醍醐味は仮装。頭にカチューシャをつけて小悪魔風の人や、ドレスを着てプリンセスになった人、衣装が嫌いな人はキラキラのボンボンを持って。思い思いの仮装でハロウィンを味わいました。28、29日はご近所にある訪問介護の事業所「あいる」さんから声を掛けいただき、こどもたくさんお菓子をもらいました。